



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

その瞬間を全力で

校長 木寺 恒

私が学生の頃、「エースをねらえ」というテニス漫画が大人気でした。そのなかで、コーチが主人公に伝える言葉があります。

この一球は絶対無二の一球なり されば身心を挙げて一打すべし
この一球一打に技を磨(みが)き体力を鍛(きた)へ 精神力を養ふべきなり
この一打に今の自己を発揮すべし これを庭球する心といふ

※無二…ふたつとないこと。かけがえのないこと。(大辞林より) ※庭球…テニスのこと
※資料によれば、早稲田大学テニス部 OB の福田雅之助氏の言葉だそうです。

いよいよ学校総合体育大会が始まります。運動部の 3 年生にとっては最後の大会です。この一球、この一振り、この一蹴り、この一本、この一走、このシュート、このサーブ…。一つのプレーの瞬間に、二度と同じ場面はありません。一瞬一瞬がかけがえのない時間。大会に出場する選手は、一つひとつのプレーに全力を込めて打ちこみ、ここまで、鍛え上げた君自身を存分に発揮して欲しいと思います。

さて、大会に参加する選手諸君に、もう一つお願いしたいことがあります。それは、ここまで応援してくれた周囲の応援や力添えに感謝の気持を持って、取り組んで欲しいということです。あなたの大会参加までに、どれほど多くの力添えがあったことか。休みの日に朝早く起きてお弁当をつくってくれたお母さん。楽しみにしていた夏休みのキャンプをあきらめて、君を部活動に送り出してくれたお父さん。初めて手にした竹刀の握り方を教えてくれた先輩、あなたが投げるボールを毎日受け止めてくれた同級生。ベンチから声を張り上げて応援してくれた後輩たち、休日返上で練習試合を入れてくれた顧問の先生、技術を鍛えあげてくれた外部コーチ、遠征の時に自転車引率をしてくださった保護者の方々、おらが学校という気持ちで、活動を温かく見守ってくださった地域の皆様等、それはもう数えきれないほど、たくさんの力添えがあったことを。あなた一人では、この舞台には立てなかった、その力を発揮することはできなかった。ここまであなたを導いてくれた、すべての力添えに感謝の気持ちを込めて、全力でプレーに打ちこんでください。

勝ち負けと書いて「勝負」と読みます。勝つことは嬉しいし、価値のあることです。しかし、それ以上に、大久保中学校の生徒がどういう姿勢で大会に挑むのか。そのことを大切にしてください。

最後になりますが、会場への移動では交通事項に十分注意しましょう(※自転車の事故が増えています。自分が事故に巻き込まれないことはもちろん、相手を怪我させないことも大切です) 応援やマナーも「さすが大久保中学校」と言われるよう、しっかりお願いします。

運動部の生徒は、大会終了後、部活動を引退となります。やがて来るその時、「今まで本当にありがとうございました」と心をこめてあいさつができる、そういう大久保中の生徒であって欲しいと思います。